

高等学校 令和8年度（2学年用）教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術

科目：美術 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 H1組・H2組・F組・A組

教科担当者：（H1組：玉井）（H2組：玉井）（F組：玉井）（A組：玉井）（組：）（組：）

使用教科書：（美術 1 光村図書）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図にもとづいて表現するための技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
造形的な視点を豊かにするため、幅広い知識を深め、表現における創造的な技能を身に付けるようにする。	表現における発想や構想の能力、鑑賞における価値意識を伴った見方や感じ方の能力を相互に関連して高めたいけるようにする。	学習に主体的に取り組む、生涯にわたり美術を愛好する心情や豊かな感性を育むとともに、美術を通して生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数	
		絵・彫	デ	映							
1 学期	オリエンテーション 私の見付けた風景<鉛筆画> 【知識及び技能】 風景の中の空間を表す活動を通して、形や色、構図などの感情に与える効果、造形的な特徴などを基に全体のイメージなどを捉え、鉛筆の特性を生かして創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な場所の風景などから感じ取ったことや考えたことを基に、形や色、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 風景から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	【指導事項】 ・美術の授業について ・年間授業計画の説明 【指導事項】 ・水張り ・さまざまな描画材料 ・鉛筆デッサンの用具・材料 ・基本的な形の捉え方 ・遠近法について ・構図を考えながら場所の設定 ・設定場所で実際に透視図法を使い作図 ・光の方向を考え陰影をつけながら、対象物を観察する ・作品の充実度を見極める ・納得するレベルまで完成度を高める ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う	○			【主体的に学習に取り組む態度】 「鑑賞」美術や美術文化に関わる中で、創造性を駆使して表現された作品の、鑑賞・創造活動に主体的に取り組もうとしている。 【知能・技術】 「知」風景の中の空間、形の効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などでとらえることを理解している。 「技」意図に応じて鉛筆の特徴を生かし、表現方法を工夫し、主題を追求して創造的に表している。 【思考・判断・表現】 「発」風景を観察し、五感で感じ取ったことなどから主題を生かし、形や色、構図などの効果を考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」風景を描く表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、風景画の見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」「態鑑」風景描写による表現と鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。					1
	美術館を楽しむ <夏季休業中課題>レポート作成				○						
2 学期	立体表現<ペーパークラフト> 【知識及び技能】 彫刻の形体、量感や質感、動勢やマッサなどの造形要素等について理解し、材料や用具を活用しながら創造的な表現の構想を練る。 【思考力、判断力、表現力等】 構成、質感などの表現を工夫し、主体的に主題を追求しながら心の中の感情を表すイメージの構想を練り、創造的に表現したり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 新しい視点で主体的に見つめる姿勢を醸成し、作者の心情や表現意図と表現の工夫	【指導事項】 ・彫刻の美の要素 ・彫刻の表現と材料の種類 ・主題の生成 ・材料・用具の特性・使用方法 ・制作工程 ・構想を練る ・作品の充実度を見極める ・着工の工夫 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う	○		○	【知能・技術】「知」形・材質から伝わる特性を自分なりに分類でき、全体のイメージで捉えることを理解している。「技」意図に応じて材料の特性を生かすとともに、立体であらわす表現の方法を工夫し追求して創造的にあらわしている。 【思考・判断・表現】 「発」質感や量感、動勢などについて考え創造的な表現の構想を練っている。「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」感じたことや考えたことをもとに創造活動に取り組もうとしている。「態鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り作者の心情や意図と表現の工夫などについて考え見方や感じ方を深めている。					16
	平面構成<植物を幾何学図形で表す> 【知識及び技能】 「植物」を題材にして、色彩、構図などの持つ働きを理解し、伝えたい目的に応じて吟味し創意工夫して創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 「植物」を深く観察し、調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、幾何学図形という表現形式の特性などを理解して心豊かに発想し、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 表現の面白さを理解し、自分や他者の作品を通じて作者の意図や工夫を知り、主体的にデザインの表現の創造活動に取り組もうとする。	【指導事項】 ・水張りの方法 ・紙の種類 ・絵の具の種類 ・筆の種類 ・配置の法則 ・構成と構図 ・色彩について ・着色の種類 ・溝引き、烏口等道具の表現と使い方 ・作品の充実度を見極める ・さし色、きき色の効果を検討 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う	○		○	【知能・技術】 「知」植物の題材を通して、色や形、五感を通して感じる事などを観察・思考する中で、全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて表現方法を創意工夫し、デザインの特徴を生かして、目的や計画を基に創造的に表している。 【思考・判断・表現】 「発」制作を通じ、美しさなどを考え、主体的に主題を生かし、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」幾何学図形という表現形式の特性などについて考え、その表現のよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」植物から受ける印象やデザインの工夫について考え、主体的に表現の創造活動に取り組もうとしている。 「態鑑」デザインのよさや美しさを感じ取り、そこに込められた意図を汲み取って見方や感じ方を深める					14
	平面構成<植物を幾何学図形で表す> 2学期同様	2学期同様				2学期同様					
3 学期	版を用いて表現<エッチング> 【知識及び技能】 生徒自身の活動した痕跡を残すという視点から、凹版の方法、技法について理解し、凹版の特性を生かして創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 凹版の特徴からどのような表現が可能か、イメージを膨らませて主体的に主題を生かし、理想を追求するために構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に計画を立てることで見方や感じ	【指導事項】 ・版画の種類 ・凹版中のエッチングの特徴 ・エッチングの手順 ・製版・印刷の方法 ・作品の充実度を見極める ・版を重ね、納得するレベルまで高める ・版画におけるサインの入れ方、ルールについて ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う	○		○	【知識・技能】 「知」凸版、凹版、平版、孔版等の方法それぞれ特徴など全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」自分の意図や表現対象に応じて表現方法を創意工夫して主題を追求し創造的に表している。 【思考・判断・表現】 「発」凹版の特徴から、どのような表現が可能かのイメージを膨らませて主体的に主題を生かし、表現の構想を練っている。「鑑」版画による表現の美しさを感じ取り表現者が何を表そうとしたのか見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」自分の「何を」「どのように」できるのかを思考し、それに合わせた表現に取り組もうとしている。					12
	展示 まとめ「これからの私と美術」 ・生活と美術の関わりを向け、これからの生活の中で、美術を通して学んだことをどのように生かすことができるのか考るとともに、「美術とは何か」について1年間の学びとともに振り返る				○						
										2 合計 70	

高等学校 令和8年度 (2学年用) 教科

芸術

科目 書道 I

教科: 芸術

科目: 書道 I

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 H1 組 ~ A 組

教科担当者: (林 徳子)

使用教科書: (教育図書 書 I)

教科 芸術

の目標:

【知識及び技能】 芸術に関する教科の特徴について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に着つけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形のよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や書に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢	仮	漢	仮						
1 学 期	道具の並べ方道具の扱いを学ぶ。	書道用具のそれぞれの名称、使い方、配置などを学んでいく。					【知識・技能】 書を書く上での道具におけるさまざまな要素、特徴と用筆・運筆との関わりを理解する。(表現「知識」) 【思考・判断・表現】 生活や社会における篆書の美と効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深くとらえる。(鑑賞) 【主体的】 人の意見をよく聞く。主体的に調べ考えを深める。	○	○	○	8
	書道には、文字の変遷の歴史、文化史、文学など多岐にわたる分野との関わりのあることを理解させる。	書道と書写の違いと書道から学ぶことを知っていく。					【知識・技能】 篆書を構成するさまざまな要素、篆書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりを理解する。(表現「知識」) 【思考・判断・表現】 篆書の古典や臨書した作品の価値とその根拠、生活や社会における篆書の美と効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深くとらえる。(鑑賞) 【主体的】 人の意見をよく聞く。主体的に調べ考えを深める。	○	○	○	8
	自分の名前を書いてみよう	墨を磨って、その墨で書く。その際筆の持ち方、書き方に意識を向けて練習を重ねる。					【知識・技能】 漢字の書を構成するさまざまな要素、古典の特徴と用筆・運筆との関わりを理解する。 【思考・判断・表現】 漢字の書の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫する。 ・漢字の書の特徴に基づく創造的な表現活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○	○	○	8
	楷書の学習 孔子廟堂碑と九成宮禮泉銘	筆法の相違点を認識する。実際に書くことによって筆法の違いを確かめ実感させる。 孔子廟堂碑と九成宮禮泉銘の特徴を確認して、臨書の練習を重ねる。清書して提出。					【知識・技能】 楷書を構成するさまざまな要素、楷書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりを理解する。 【思考・判断・表現】 楷書の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫する。 【主体的】 人の意見をよく聞く。主体的に調べ考えを深める。	○	○	○	10

